マレスケの虹

森川成美作　小峰書店

うちのじいちゃんは、二十歳でハワイ島にやってきた。この地で生まれたぼくは、アメリカの市民権を持つ十四歳の日系二世だ。希典という名前は、じいちゃんがつけた。ぼくらは、ここで穏やかに暮らしていたのに、日本軍がパールハーバーを爆撃すると、ぼくらの生活は一変した。じいちゃんはアメリカの敵意に反発し、にいちゃんはアメリカ人だと証明するため志願兵になった。

敵か味方か、二つの祖国の間で悩みながらも、自分の生き方を見つけていく少年の物語。